

## (1) 大学の設置理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会であり、本学は、構成員の各々が、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で、大学の形成に参加することを期待する。

教員は、学術の研究を尊重し、自らの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目を注ぎ、人類が直面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を錬成し、これによって、自らの人格を陶冶し、社会の建設に貢献する力を身につけなくてはならない。職員は本学が充実した研究と教育の場となり、またその成果が広く社会に知られ、活かされるよう、教員、学生と協力してその職務に全力を尽くすことを求められる。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想信条の多様性を認め、多様な分野の学問的研究を奨励し、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神を養う。学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力およびいかなる権力の介入も、これを許さず、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。

## (2) 教員養成に対する理念・構想

### ①大学

上智大学は、建学以来、キリスト教ヒューマニズムを基盤とした「他者のために、他者とともに生きる」を掲げ、「隣人のために尽くすこと」を喜びとできる人間の育成を目指してきた。

本学における教員養成も、この理念と軌を一にしている。すなわち、「子供たちのために、子供たちとともに生きる」をモットーに、キリストにならって清貧のうちに生き、「子供たちと社会のために尽くすこと」をこの上ない喜びとできる教員の育成を目指している。また、そのために、教育に関する広い知識と深い学芸を教授し、知的、道徳的および実践的能力を調和的に身につけるとともに、国際的な視野に立って思考し、行動することのできる教員の養成に取り組んできた。

本学教職課程では、全学の持てる力を注ぎ、充実した指導体制をもってこの理念の実現に向かうことにより、本学が担うべき社会的使命の一端を果たしたいと考える。